

# 令和7年度（2025年度）全国学力・学習状況調査結果報告

令和7年4月実施の「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- 実施された国語・数学・理科に関して【区分及び領域】で概要を示しました。
- 生活習慣や学習環境に関する調査につきましても、顕著なものを取り上げてまとめました。
- 全国学力・学習状況調査 について、国立教育政策研究所ホームページも併せて御覧ください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

本校の概要	調査における課題	改善の方向
<p style="text-align: center;">全体的に良好な回答が多い</p> <p style="text-align: center;">全国平均と比較して同程度または良好な回答が多い</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ 自分にはよいところがある。</li><li>□ 先生は良いところを認めてくれる。</li><li>□ 将来の夢や目標を持っていますか。</li><li>□ 友人関係に満足している。</li><li>□ 人の役に立つ人間になりたいと思う。</li><li>□ 学校へ行くのは楽しいと思う。</li><li>□ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。</li><li>□ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。</li><li>□ 学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいた。</li><li>□ PC・タブレットを使って、情報を整理することやプレゼンテーションを行うことができる。</li><li>□ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。</li><li>□ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。</li><li>□ 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。</li><li>□ 数学・理科の授業が好きである。</li><li>□ 数学・理科がよく分かる。</li><li>□ 数学の解答時間は十分だった。</li></ul>	<p style="text-align: center;">比較的良好な回答が低い</p> <p style="text-align: center;">全国平均と比較して良好な回答が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 朝食を毎日食べている生徒が全国平均より低く、8割に満たない。</li><li>■ 毎日、同じくらいの時刻に就寝している生徒が全国平均より2割少ない。</li><li>■ 困りごと・不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談ができると考えている生徒は6割程度である。</li><li>■ 分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することができると回答した生徒は、全国平均では8割に近かったが、本校では7割程度であった。</li><li>■ 1・2年生時のときに受けた授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じている生徒は7割に満たなかった。</li><li>■ 新聞を読んでいる生徒は全国平均より少し少ない程度ですが、全く読まないという生徒は8割以上いる。</li><li>■ 国語・数学・理科の授業で学んだことが、将来社会に出たときに役立つと思うという回答は、数学は全国平均より高い割合を示しているが、国語・理科については全国平均よりやや低い数値である。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 生活習慣の基本となる体調管理や、学習内容の充実等の側面として、日課の自己管理ができる工夫を今後も継続する。</li><li>◇ 教育相談の充実やシャボテンの活用を通じて、生徒が学校にいる大人に相談できる環境づくりに努める。</li><li>◇ 分からないことや詳しく知りたいこと・知ってほしいことなど、より知識を深め、考えを深められるように学校として学習方法の相談活動や環境・機会を作る。</li><li>◇ 新聞を読むことは、地域や社会の動きを知る一つの手段であることについての啓発に努める。</li><li>◇ 各教科の授業では、知識の押し付けではなく、生徒が主体的に考え、社会や実生活に役立つ学びに繋がるよう計画する。</li><li>◇ ご家庭ではさっぽろっ子「学びのススメ」を参考に御指導ください。</li></ul>

本校の概要

全体の平均正答率は、全国平均より上回っている。

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

文脈に即して漢字を正しく使う問題について全国の平均と同程度だった。

「話すこと・聞くこと」

資料や機器を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるような表現に工夫したり、相手の反応を踏まえながら表現を工夫したりできるかどうかについての問題において全国平均を上回っていた。

「書くこと」

目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしたり、自分の考えが効果的に伝わる文章になるように工夫したりする問題において全国平均を上回っていた。

「読むこと」

どの問題も全国平均を上回っていたが、特に文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える問題についてより全国平均を上回っていた。

今回の調査における課題

■話す聞く問題で、指示されている内容が何かを読み取る問題において、誤答が多くみられた。

■文章と図を結び付けて考える問題において、苦手意識を持っている生徒がみられた。

■文法の分野で、文の成分の問題に課題がみられた。

■文脈に即した漢字を正しく書くことができるかという問題に課題がみられた。

■全体的に全国平均よりも高い正答率を残していた。

改善の方向

◇記述式などの問題で全国平均上回ったことは良い傾向だと考える。レポート課題などにさらに力を入れ、文章書くことへの苦手意識を減らしていく。

◇漢字や文法など、知識の問題について、基礎的な学習を徹底して行うとともに、実の場で積極的に用いるように指導をする。

◇対話の時間を増やし、協働な学びの場を設定することで、コミュニケーション能力を始めとした、話す聞く力を伸ばしていく。

分類	区分		全国との比較
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	○
		情報の扱い方に関する事項	設問なし
		我が国の言語文化に関する事項	設問なし
	思考力	話すこと・聞くこと	○
判断力	書くこと	◎	
	表現力等	読むこと	◎
問題形式	選択式		○
	短答式		◎
	記述式		◎
評価の観点	知識・技能		○
	思考・判断・表現		◎

※+3.1%以上=上回っている ±3%=ほぼ同程度 -3.1%以下=下回っている  
 ◎ = ◎ で表示 ○ = ○ で表示 △ = △ で表示しています。



